

平成19年3月期 第3四半期財務・業績の概況(連結)



平成19年2月16日

上場会社名 株式会社極楽湯

(JASDAQ・コード番号：2340)

(URL <http://www.gokurakuyu.ne.jp/>)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長

新川 隆 丈

責任者役職・氏名 取締役執行役員管理本部長

松本 俊 二

(TEL：(03)5275-0580)

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 (内容) 法人税等の計上は、簡便な方法により計算しております。影響額の僅少なものについては、一部簡便な方法により計上しております。
- ② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有
 (内容) 株式会社極楽湯におきまして、リース物件の所有権が貸主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、前連結会計年度金融取引として処理したセール・アンド・リースバック取引を含め、原則的方法である通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理に変更しております。また、自動販売機設置協賛金については前連結会計年度売上高に含めて処理しておりましたが、営業外収益で処理する方法に変更しております。
- ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成19年3月期第3四半期財務・業績の概況(平成18年4月1日～平成18年12月31日)

(注)当社は、平成19年3月期より四半期での連結財務諸表を作成しているため、平成18年3月期第3四半期の数値及び対前期増減率については記載しておりません。

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

(百万円未満切捨)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第3四半期	5,642	—	5	—	△28	—	△8	—
18年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—
(参考)18年3月期	5,759		150		348		158	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
19年3月期第3四半期	△3	70	—	—
18年3月期第3四半期	—	—	—	—
(参考)18年3月期	86	08	85	70

(注)1. 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、前年同四半期に対する増減率であります。

2. 19年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、四半期純損失を計上しているため記載しておりません。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

第3四半期における我が国の経済環境は、企業業績の回復による順調な民間設備投資の増加や雇用情勢の改善を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、不安定な国際情勢、原油価格高騰の長期化、金融政策の転換による金利上昇への懸念等々の不安定要素もあることから、今後の経済情勢には注意が必要な状況にあります。

当温浴業界におきましては、「癒し」「健康」「美」などの様々なコンセプトによる事業展開が拡がりを見せております。「スーパー銭湯」といわれる業態においても、新規店舗の積極的な出店が見られる一方で、競争が激化する傾向にあるなか、衛生管理面への対応や顧客ニーズを反映した付加価値的サービスの充実等が乏しい施設は淘汰される状況が出てきております。

こうした状況のもと、当社グループの経営成績は以下のとおりです。

株式会社極楽湯の業績は、重油価格や天然ガス価格などのエネルギーコストの平準化を図るための原油スワップ導入に伴い、時価評価損であるデリバティブ損失(営業外費用)17百万円が発生したことに加えまし

て、10月、11月の二ヶ月で3店舗（多摩センター店、福井店、津店）と引き続き積極的な新規出店を実施したことによる出店費用の増大が響いた結果となりました。

また、当社100%子会社で岩盤浴事業を行っている株式会社ナチュレの業績が「ナチュレ六本木店」のリニューアルや新たな事業展開を行うなど回復に向けての施策を進めているものの、同業他社の乱立や低価格競争等の影響を大きく受けたことによる損失を回復するまでには至っておりません。

これにより、当第3四半期の連結売上高は5,642百万円、営業利益は5百万円、経常損失28百万円、四半期純損失8百万円となりました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

(百万円未満切捨)

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第3四半期	13,351	5,675	42.4	2,461 24
18年3月期第3四半期	—	—	—	— —
(参考) 18年3月期	9,255	4,359	47.1	2,371 13

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期における総資産につきましては、新規に出店しました店舗資産の増加、リース資産のオンバランス化等により13,351百万円となり、負債につきましてはリース債務の計上等により7,676百万円となりました。

また、自己資本比率につきましては、42.4%という結果となりました。

○添付資料

(要約) 四半期連結貸借対照表、(要約) 四半期連結損益計算書など

以上

[参考]

平成19年3月期の連結業績予想（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通期	8,000	200	100

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 8円67銭

(注) 1. 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

2. 上記に記載した1株当たり予想当期純利益(通期)は、平成19年1月1日に1株を5株に株式分割したことによる株式分割後の株式数により計算しております。

[業績予想に関する定性的情報等]

業績予想は、「売上高」「経常利益」「当期純利益」については、平成19年1月実績の好調を勘案し、平成18年11月17日付けにて発表いたしました「平成19年3月期 中間決算短信」記載の予想数値からの変更はございません。

1. (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円、%)

科 目	当四半期 (平成19年3月期 第3四半期末)		(参 考) 平成18年3月期	
	金額	構成比	金額	構成比
(資産の部)				
I 流動資産				
1. 現金及び預金	1,353,142		970,952	
2. 売掛金	43,300		58,313	
3. たな卸資産	28,678		21,878	
4. 仮払金	—		666,758	
5. 繰延税金資産	17,875		28,957	
6. その他	133,653		164,291	
7. 貸倒引当金	△ 20		—	
流動資産合計	1,576,631	11.8	1,911,152	20.6
II 固定資産				
1. 有形固定資産				
(1) 建物	6,196,473		4,409,642	
(2) 構築物	1,427,928		1,148,616	
(3) 車両運搬具	3,319		18	
(4) 工具器具備品	426,270		101,221	
(5) 建設仮勘定	122,439		284,129	
(6) その他	4,926		4,926	
有形固定資産合計	8,181,357	61.3	5,948,554	64.3
2. 無形固定資産	108,644	0.8	45,584	0.5
3. 投資その他の資産				
(1) 投資有価証券	216,066		379,066	
(2) 繰延税金資産	89,555		74,828	
(3) 保証金	2,622,721		485,197	
(4) その他	556,950		411,246	
投資その他の資産合計	3,485,294	26.1	1,350,339	14.6
固定資産合計	11,775,297	88.2	7,344,477	79.4
資産合計	13,351,928	100.0	9,255,630	100.0

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(単位：千円、%)

科 目	当四半期 (平成19年3月期 第3四半期末)		(参 考) 平成18年3月期	
	金額	構成比	金額	構成比
(負債の部)				
I 流動負債				
1. 買掛金	251,763		210,401	
2. 1年以内返済予定 長期借入金	646,680		859,315	
3. 1年以内償還予定社債	84,000		84,000	
4. リース債務	427,731		—	
5. 未払金	617,282		206,160	
6. 未払法人税等	—		106,249	
7. 賞与引当金	25,105		39,768	
8. その他	577,887		375,642	
流動負債合計	2,630,449	19.7	1,881,539	20.3
II 固定負債				
1. 長期借入金	1,725,150		2,484,852	
2. 社債	432,000		474,000	
3. 長期リース債務	2,799,417		—	
4. 退職給付引当金	16,722		23,021	
5. 役員退職慰労引当金	18,100		7,000	
6. その他	54,965		25,896	
固定負債合計	5,046,355	37.8	3,014,770	32.6
負債合計	7,676,805	57.5	4,896,309	52.9
(資本の部)				
I 資本金	—	—	1,345,555	14.6
II 資本剰余金	—	—	1,492,155	16.1
III 利益剰余金	—	—	1,521,610	16.4
資本合計	—	—	4,359,320	47.1
負債及び資本合計	—	—	9,255,630	100.0
(純資産の部)				
I 株主資本				
1. 資本金	2,032,626	15.2	—	—
2. 資本剰余金	2,179,226	16.3	—	—
3. 利益剰余金	1,453,344	10.9	—	—
株主資本合計	5,665,197	42.4	—	—
II 評価・換算差額等				
1. その他有価証券評価 差額金	△ 593		—	—
評価・換算差額等合計	△ 593	0.0	—	—
III 新株予約権	10,519	0.1	—	—
純資産合計	5,675,123	42.5	—	—
負債純資産合計	13,351,928	100.0	—	—

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

2. (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：千円、%)

科 目	当四半期 (平成19年3月期 第3四半期)		(参 考) 平成18年3月期	
	金額	百分比	金額	百分比
I 売上高	5,642,814	100.0	5,759,208	100.0
II 売上原価	5,152,350	91.3	5,043,085	87.6
売上総利益	490,463	8.7	716,122	12.4
III 販売費及び一般管理費	485,344	8.6	565,195	9.8
営業利益	5,118	0.1	150,927	2.6
IV 営業外収益	92,036	1.6	266,219	4.6
V 営業外費用	125,948	2.2	68,704	1.2
経常利益又は損失(△)	△28,793	△0.5	348,443	6.0
VI 特別利益	65,105	1.1	—	—
VII 特別損失	—	—	28,502	0.5
税金等調整前 四半期(当期)純利益	36,312	0.6	319,941	5.5
税金費用	44,765	0.7	161,908	2.8
四半期純損失(△) 又は当期純利益	△8,453	△0.1	158,032	2.7

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

3. (要約) 四半期連結株主資本等変動計算書

当四半期(自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
平成18年3月31日残高(千円)	1,345,555	1,492,155	1,521,610	4,359,320
当四半期中の変動額				
新株の発行	687,071	687,071	—	1,374,142
剰余金の配当	—	—	△59,813	△59,813
四半期純利益	—	—	△8,453	△8,453
株主資本以外の項目の 当四半期中の変動額(純額)	—	—	—	—
当四半期中の変動額合計(千円)	687,071	687,071	△68,266	1,305,876
平成18年12月31日残高(千円)	2,032,626	2,179,226	1,453,344	5,665,197

	評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
平成18年3月31日残高(千円)	—	—	—	4,359,320
当四半期中の変動額				
新株の発行	—	—	—	1,374,142
剰余金の配当	—	—	—	△59,813
四半期純利益	—	—	—	△8,453
株主資本以外の項目の 当四半期中の変動額(純額)	△593	△593	10,519	9,926
当四半期中の変動額合計(千円)	△593	△593	10,519	1,315,802
平成18年12月31日残高(千円)	△593	△593	10,519	5,675,123

平成19年3月期 第3四半期財務・業績の概況(個別)



平成19年2月16日

上場会社名 株式会社極楽湯

(JASDAQ・コード番号：2340)

(URL <http://www.gokurakuyu.ne.jp>)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長

新川 隆丈

責任者役職・氏名 取締役執行役員管理本部長

松本 俊二

(TEL：(03)5275-0580)

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 (内容) 法人税等の計上は、簡便な方法により計算しております。影響額の僅少なものについては、一部簡便な方法により計上しております。
- ② 最近事業年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有
 (内容) リース物件の所有権が貸主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、前事業年度金融取引として処理したセール・アンド・リースバック取引を含め、原則的方法である通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理に変更しております。また、自動販売機設置協賛金については前事業年度売上高に含めて処理しておりましたが、営業外収益で処理する方法に変更しております。

2. 平成19年3月期第3四半期財務・業績の概況(平成18年4月1日～平成18年12月31日)

(注) 売上高以外の項目については、平成18年3月期(第1四半期)より四半期開示を行っているため、対前年比増減率については記載しておりません。

(1) 経営成績(個別)の進捗状況

(百万円未満切捨)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第3四半期	5,634	(45.8)	43	(31.8)	3	(△98.7)	23	(△79.2)
18年3月期第3四半期	3,864	(16.4)	33	(—)	243	(—)	113	(—)
(参考) 18年3月期	5,755		177		376		185	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
19年3月期第3四半期	10	30	10	18
18年3月期第3四半期	61	58	61	42
(参考) 18年3月期	101	13	100	69

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、前年同四半期に対する増減率であります。

[経営成績(個別)の進捗状況に関する定性的情報等]

第3四半期における我が国の経済環境は、企業業績の回復による順調な民間設備投資の増加や雇用情勢の改善を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、不安定な国際情勢、原油価格高騰の長期化、金融政策の転換による金利上昇への懸念等々の不安定要素もあることから、今後の経済情勢には注意が必要な状況にあります。

当温浴業界におきましては、「癒し」「健康」「美」などの様々なコンセプトによる事業展開が拡がりを見せております。「スーパー銭湯」といわれる業態においても、新規店舗の積極的な出店が見られる一方で、競争が激化する傾向にあるなか、衛生管理面への対応や顧客ニーズを反映した付加価値的サービスの充実等が乏しい施設は淘汰される状況が出てきております。

こうした状況のもと、当社の経営成績は以下のとおりです。

重油価格や天然ガス価格などのエネルギーコストの平準化を図るための原油スワップ導入に伴い、時価評価損であるデリバティブ損失(営業外費用)17百万円が発生したことに加えまして、10月、11月の二ヶ月で3店舗(多摩センター店、福井店、津店)と引き続き積極的な新規出店を実施したことによる出店費用の増大が響いた結果となりました。

これにより、当第3四半期の売上高は5,634百万円、営業利益は43百万円、経常利益3百万円、四半期純利益23百万円となりました。

(2) 財政状態（個別）の変動状況

(百万円未満切捨)

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第3四半期	13,397	5,734	42.7	2,487 8
18年3月期第3四半期	9,401	4,312	45.8	2,346 93
(参考) 18年3月期	9,280	4,386	47.3	2,386 16

[財政状態（個別）の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期における総資産につきましては、新規に出店しました店舗資産の増加、リース資産のオンバランス化等により13,397百万円（前年同期比3,996百万円増）となり、負債につきましてはリース債務の計上等により7,662百万円（同2,573百万円増）となりました。

また、自己資本比率につきましては、42.7%（同3.1ポイント減）という結果となりました。

○添付資料

(要約) 四半期貸借対照表、(要約) 四半期損益計算書など

以 上

[参考]

平成19年3月期の業績予想（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通期	8,000	200	100

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 8円67銭

(注) 1. 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

2. 上記に記載した1株当たり予想当期純利益(通期)は、平成19年1月1日に1株を5株に株式分割したことによる株式分割後の株式数により計算しております。

[業績予想に関する定性的情報等]

業績予想は、「売上高」「経常利益」「当期純利益」については、平成19年1月実績の好調を勘案し、平成18年11月17日付けにて発表いたしました「平成19年3月期 中間決算短信」記載の予想数値からの変更はございません。

1. (要約) 四半期貸借対照表

(単位：千円、%)

科 目	当四半期 (平成19年3月期 第3四半期末)		前年同四半期 (平成18年3月期 第3四半期末)		増 減		(参 考) 平成18年3月期	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比
(資産の部)								
I 流動資産								
1. 現金及び預金	1,338,753		2,231,681		△892,927		970,378	
2. 売掛金	41,277		103,954		△62,676		58,313	
3. 未収入金	21		1,812,987		△1,812,966		—	
4. たな卸資産	26,624		17,992		8,632		—	
5. 前払費用	84,502		62,398		22,104		74,428	
6. 仮払金	—		—		—		666,739	
7. 繰延税金資産	17,875		14,859		3,016		28,957	
8. 子会社貸付金	164,923		50,000		114,923		50,000	
9. その他	45,161		2,088		43,072		108,276	
10. 貸倒引当金	△20		—		△20		—	
流動資産合計	1,719,121	12.8	4,295,962	45.7	△2,576,841	△60.0	1,957,094	21.1
II 固定資産								
1. 有形固定資産								
(1) 建物	6,103,764		2,991,492		3,112,271		4,386,418	
(2) 構築物	1,424,948		438,349		986,598		1,148,616	
(3) 車両運搬具	3,319		18		3,301		18	
(4) 工具器具備品	425,130		60,569		364,560		99,760	
(5) 土地	4,926		4,926		—		4,926	
(6) 建設仮勘定	122,439		299,367		△176,928		284,129	
有形固定資産合計	8,084,528	60.4	3,794,725	40.3	4,289,803	113.0	5,923,870	63.8
2. 無形固定資産	108,644	0.8	46,836	0.5	61,807	132.0	45,584	0.5
3. 投資その他の資産								
(1) 投資有価証券	216,066		331,000		△114,933		379,066	
(2) 長期前払費用	60,527		71,590		△11,062		66,467	
(3) 繰延税金資産	89,555		69,852		19,703		74,828	
(4) 保証金	2,613,022		429,191		2,183,831		479,883	
(5) 建設協力金	392,303		332,924		59,379		327,792	
(6) 子会社株式	10,000		10,000		—		10,000	
(7) その他	103,600		19,000		84,600		16,000	
投資その他の資産合計	3,485,076	26.0	1,263,558	13.4	2,221,518	175.8	1,354,039	14.6
固定資産合計	11,678,250	87.2	5,105,120	54.3	6,573,129	128.8	7,323,494	78.9
資産合計	13,397,371	100.0	9,401,082	100.0	3,996,288	42.5	9,280,588	100.0

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(単位：千円、%)

科 目	当四半期 (平成19年3月期 第3四半期末)		前年同四半期 (平成18年3月期 第3四半期末)		増 減		(参 考) 平成18年3月期	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比
(負債の部)								
I 流動負債								
1. 買掛金	251,723		232,265		19,458		210,401	
2. 1年以内返済予定 長期借入金	646,680		594,052		52,628		859,315	
3. 1年以内償還予定社債	84,000		84,000		—		84,000	
4. リース債務	427,731		—		427,731		—	
5. 未払金	296,056		237,403		58,653		204,024	
6. 設備未払金	320,365		530,483		△210,118		92,338	
7. 未払費用	167,784		84,440		83,343		98,966	
8. 未払法人税等	—		20,880		△20,880		106,209	
9. 未払消費税等	131,057		11,445		119,612		—	
10. 前受金	259,956		179,703		80,253		165,298	
11. 預り金	8,292		8,230		62		5,583	
12. 賞与引当金	25,105		20,458		4,647		39,768	
13. その他	9,929		8,002		1,927		12,958	
流動負債合計	2,628,684	19.6	2,011,365	21.4	617,319	30.7	1,878,863	20.2
II 固定負債								
1. 長期借入金	1,725,150		2,455,330		△730,180		2,484,852	
2. 社債	432,000		516,000		△84,000		474,000	
3. 長期リース債務	2,799,417		—		2,799,417		—	
4. 退職給付引当金	16,722		20,154		△3,432		23,021	
5. 役員退職慰労引当金	18,100		5,270		12,830		7,000	
6. 長期設備未払金	—		53,830		△53,880		—	
7. デリバティブ負債	17,556		—		17,556		—	
8. 預り保証金	25,023		26,185		△1,162		25,896	
固定負債合計	5,033,969	37.6	3,076,770	32.7	1,957,198	63.6	3,014,770	32.5
負債合計	7,662,654	57.2	5,088,135	54.1	2,574,518	50.6	4,893,633	52.7
(資本の部)								
I 資本金	—	—	1,344,875	14.3	—	—	1,345,555	14.5
II 資本剰余金								
1. 資本準備金	—	—	1,491,475		—	—	1,492,155	
資本剰余金合計	—	—	1,491,475	15.8	—	—	1,492,155	16.1
III 利益剰余金								
1. 利益準備金	—	—	50		—	—	50	
2. 任意積立金								
別途積立金	—	—	32,907		—	—	32,907	
3. 当期末処分純利益	—	—	1,443,639		—	—	1,516,288	
利益剰余金合計	—	—	1,476,596	15.7	—	—	1,549,245	16.7
資本合計	—	—	4,312,946	45.8	—	—	4,386,955	47.3
負債及び資本合計	—	—	9,401,082	100.0	—	—	9,280,588	100.0

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(単位：千円、%)

科 目	当四半期 (平成19年3月期 第3四半期末)		前年同四半期 (平成18年3月期 第3四半期末)		増 減		(参 考) 平成18年3月期	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比
(純資産の部)								
I 株主資本								
1. 資本金	2,032,626	15.2	—	—	—	—	—	—
2. 資本剰余金								
(1) 資本準備金	2,179,226		—	—	—	—	—	—
資本剰余金合計	2,179,226	16.2	—	—	—	—	—	—
3. 利益剰余金								
(1) 利益準備金	50		—	—	—	—	—	—
(2) その他利益剰余金								
別途積立金	32,907		—	—	—	—	—	—
繰越利益剰余金	1,479,981		—	—	—	—	—	—
利益剰余金合計	1,512,938	11.3	—	—	—	—	—	—
株主資本合計	5,724,790	42.7	—	—	—	—	—	—
II 評価・換算差額等	△593	△0.0	—	—	—	—	—	—
III 新株予約権	10,519	0.1	—	—	—	—	—	—
純資産合計	5,734,717	42.8	—	—	—	—	—	—
負債純資産合計	13,397,371	100.0	—	—	—	—	—	—

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

2. (要約) 四半期損益計算書

(単位：千円、%)

科 目	当四半期 (平成19年3月期 第3四半期)		前年同四半期 (平成18年3月期 第3四半期)		増 減		(参 考) 平成18年3月期	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	増減率	金額	百分比
I 売上高	5,634,646	100.0	3,864,742	100.0	1,769,904	45.8	5,755,817	100.0
II 売上原価	5,106,703	90.5	3,419,920	88.5	1,686,782	49.3	5,013,051	87.1
売上総利益	527,943	9.4	444,822	11.5	83,121	18.7	742,766	12.9
III 販売費及び一般管理費	484,367	8.6	411,764	10.7	72,602		564,910	9.8
営業利益	43,576	0.8	33,057	0.8	10,519	31.8	177,855	3.1
IV 営業外収益	85,405	1.5	252,187	6.5	△166,782		266,466	4.6
V 営業外費用	125,816	2.2	41,919	1.0	83,896		68,284	1.2
経常利益	3,165	0.1	243,325	6.3	△240,159	△98.7	376,037	6.5
VI 特別利益	65,105	1.1	3,516	0.0	61,589		—	—
VII 特別損失	—	—	30,459	0.7	△30,459		28,502	0.5
税引前第3四半期 (当期)純利益	68,271	1.2	216,381	5.6	△148,110	△68.4	347,535	6.0
税金費用	44,765	0.8	103,363	2.7	△58,598		161,869	2.8
第3四半期 (当期)純利益	23,505	0.4	113,017	2.9	△89,511	△79.2	185,666	3.2
前期繰越利益			1,348,988				1,348,988	
中間配当額			18,367				18,367	
第3四半期 (当期)未処分利益			1,443,639				1,516,288	

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

3. (要約) 四半期株主資本等変動計算書

当四半期(自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日)

	株主資本		
	資本金	資本剰余金	
		資本準備金	資本剰余金合計
平成18年3月31日残高(千円)	1,345,555	1,492,155	1,492,155
当四半期中の変動額			
新株の発行	687,071	687,071	687,071
剰余金の配当	—	—	—
当期純利益	—	—	—
株主資本以外の項目の 当四半期中の変動額(純額)	—	—	—
当四半期中の変動額合計(千円)	687,071	687,071	687,071
平成18年12月31日残高(千円)	2,032,626	2,179,226	2,179,226

	株主資本				
	利益剰余金				株主資本合計
	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計	
		別途積立金	繰越利益剰余金		
平成18年3月31日残高(千円)		50	32,907		
当四半期中の変動額					
新株の発行	—	—	—	—	1,374,142
剰余金の配当	—	—	△59,813	△59,813	△59,813
当期純利益	—	—	23,505	23,505	23,505
株主資本以外の項目の 当四半期中の変動額(純額)	—	—	—	—	—
当四半期中の変動額合計(千円)	—	—	△36,308	△36,308	1,337,834
平成18年12月31日残高(千円)	50	32,907	1,479,981	1,512,938	5,724,790

	評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
平成18年3月31日残高(千円)	—	—	—	4,386,955
当四半期中の変動額				
新株の発行	—	—	—	1,374,142
剰余金の配当	—	—	—	△59,813
当期純利益	—	—	—	23,505
株主資本以外の項目の 当四半期中の変動額(純額)	△593	△593	10,519	9,926
当四半期中の変動額合計(千円)	△593	△593	10,519	1,347,761
平成18年12月31日残高(千円)	△593	△593	10,519	5,734,717